# 目次

第 1 章 公共施設マネジメント基本方針策定の背景	1
1-1 公共施設マネジメントの背景・目的	1
1-2 蒲郡市公共施設マネジメント基本方針の位置づけ	t2
1-3 公共施設マネジメントにおける市民協働の取組み	<b>⊁</b> 3
1-3-1 公共施設のあり方に関するアンケート調査	3
1-3-2 蒲郡市公共施設のあり方検討市民会議	4
第2章 公共施設を取り巻く現状と課題	5
2-1 蒲郡市の概要	5
2-1-1 蒲郡市の概況	5
2-1-2 人口の推移・将来予測	6
2-1-3 歳入の推移(普通会計)	7
2-1-4 歳出の推移(普通会計)	7
2-2 公共施設の現状	8
2-2-1 公共施設の保有状況	8
2-2-2 他の都市との比較	9
2-3 公共施設維持管理の将来推計	11
2-3-1 公共施設の築年数	11
2-3-2 公共施設の維持更新にかかる将来費用	12
2-4 公共施設を取り巻く現状と課題のまとめ	15
2-4-1 市の地理的特性	15
2-4-2 人口の動向	15
2-4-3 財政状況	15
2-4-4 公共施設の整備状況	15
2-4-5 公共施設の将来の維持更新費用	15
第3章 公共施設マネジメントの基本方針	16
3-1 基本的な考え方	16
3-2 基本方針	17
3-3 各基本方針の概要	18

# 1-2 蒲郡市公共施設マネジメント基本方針の位置づけ

「蒲郡市公共施設マネジメント基本方針」は、市の最上位の計画である蒲郡市総合計画に基づいて策定するものです。

本市では、平成26年度に「蒲郡市公共施設白書」を策定し、公共施設の老朽化状況やコスト・利用状況などの現状を把握しました。本方針は、この結果に基づいて中長期的な視点のもと財政状況や社会情勢の変化に対応した公共施設のあり方を整理したものです。なお、本方針の策定にあたっては、「蒲郡市公共施設のあり方検討市民会議」によりとりまとめられた「蒲郡市の公共施設のあり方に関する提言書」の内容を十分に考慮しました。

今後は、本基本方針をもとに、具体的に公共施設の再配置の実施計画を整理した 「蒲郡市公共施設マネジメント実施計画(仮称)」を策定し、具体的な施設整備事業 を実施する予定です。

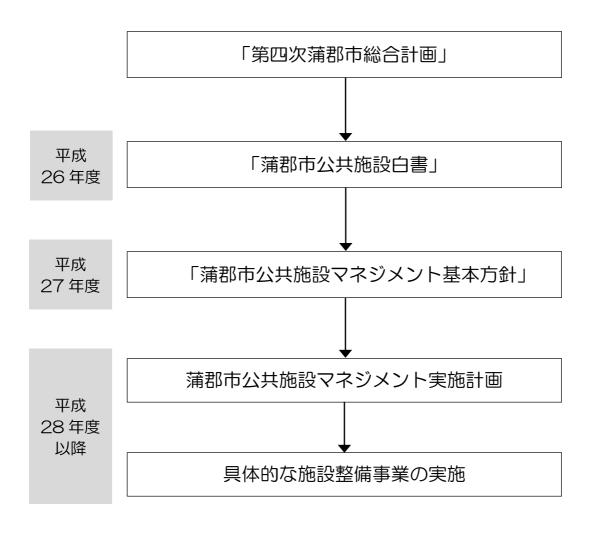


図 1-1 本基本方針の位置づけ

# 1-3 公共施設マネジメントにおける市民協働の取組み

### 1-3-1 公共施設のあり方に関するアンケート調査

蒲郡市では、市民の皆様の公共施設のご利用実態を把握するとともに公共施設のあり方を検討する際の基礎資料として扱うことを目的に、公共施設のあり方に関するアンケート調査を実施しました。平成27年5月29日から平成27年6月15日にかけて市内にお住まいの満20歳以上の方2,000名を対象に調査を行い、783名(回答率39%)の市民から回答がありました。

調査の結果、今後の公共施設のあり方について「現在ある公共施設の統廃合によって施設の総量や整備費を減らす」「あまり使用されていない公共施設は廃止又は縮小する」といった取組みについて、「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」という回答が7割以上となっており、施設の統廃合・縮減による費用削減を行うなど、公共施設マネジメントの取組みが必要とされていることが伺えます。

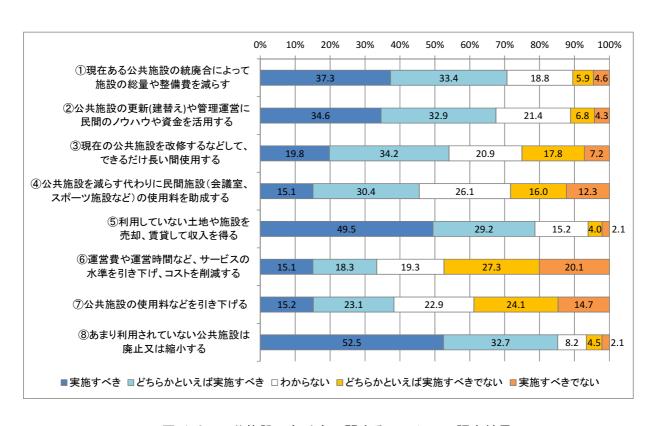


図 1-2 公共施設のあり方に関するアンケート調査結果

### 1-3-2 蒲郡市公共施設のあり方検討市民会議

蒲郡市では、今後の公共施設の整備に関する基本方針を検討するにあたり、市民の 皆様のご意見を伺う場として「蒲郡市公共施設のあり方検討市民会議」を設置しまし た。市民会議は市内の各種団体の代表者や公募によって選ばれた市民 15 名によって 構成され、平成27年5月13日から平成27年9月9日にかけて5回にわたって開催 し、平成27年10月27日には、議論の結果をまとめた「蒲郡市の公共施設のあり方 に関する提言書」が市長に提出されました。

提言書においては、①財政状況や社会情勢の変化を踏まえた「身の丈にあった」公 共施設、②まちの魅力を高めるための公共施設、③公共施設マネジメントの推進方策、 の3つの観点から公共施設のあり方に関する具体的な取組みの提言がありました。提 言書の内容については、本基本方針の策定を含めた今後の公共施設マネジメントの検 討における指針として活用していきます。

### 観点(1) 財政状況や社会情勢の変化を踏まえた 「身の丈にあった」公共施設



- ・複合化・統廃合による施設保有量の 適正化・運営の効率化
- ・民間との協働促進によるコスト減
- 利用料金の適正化
- ・施設の長寿命化、計画的な修繕・改修
- ・施設規模の縮小
- ・新たな建設投資の抑制
- ・近隣自治体との連携
- ・市民による負担者としての判断

# 観点2

# まちの魅力を高めるための 公共施設



- ・子どもや高齢者の居場所・交流づくりの推進
- まちの核となるエリアの魅力創出
- ・複合化による新たな効果の創出
- ・施設・地域の特性の把握
- ・地域による主体的な運営
- ・交通を踏まえた施設配置の検討(公共交通・ 自動車の利便性向上)
- ハードではなくソフトでのサービス提供
- ・市民の「安全」「安心」を守る
- 公共施設の周知・認知度向上



# 公共施設マネジメントの推進方策



- ・行政のやる気・スリム化・トップマネジメント ・実効性のある計画策定・PDCAサイクルによる管理
- ・庁内の横断的な取組み
- 市民との協働による推進
- ・施設の役割・機能別のマネジメント

図 1-3 蒲郡市の公共施設のあり方に関する提言